

SNSで延岡市を活発に！

班員 甲斐凜子 日高沙貴
山下愛翔 西村龍悟

指導者 大西圭先生
上ノ原一道様

11 住み続けられる
まちづくりを



研究の動機

延岡の食べ物や景色、イベントを写真で
宣伝することで延岡市全体の発展につ
なげようと思ったから。

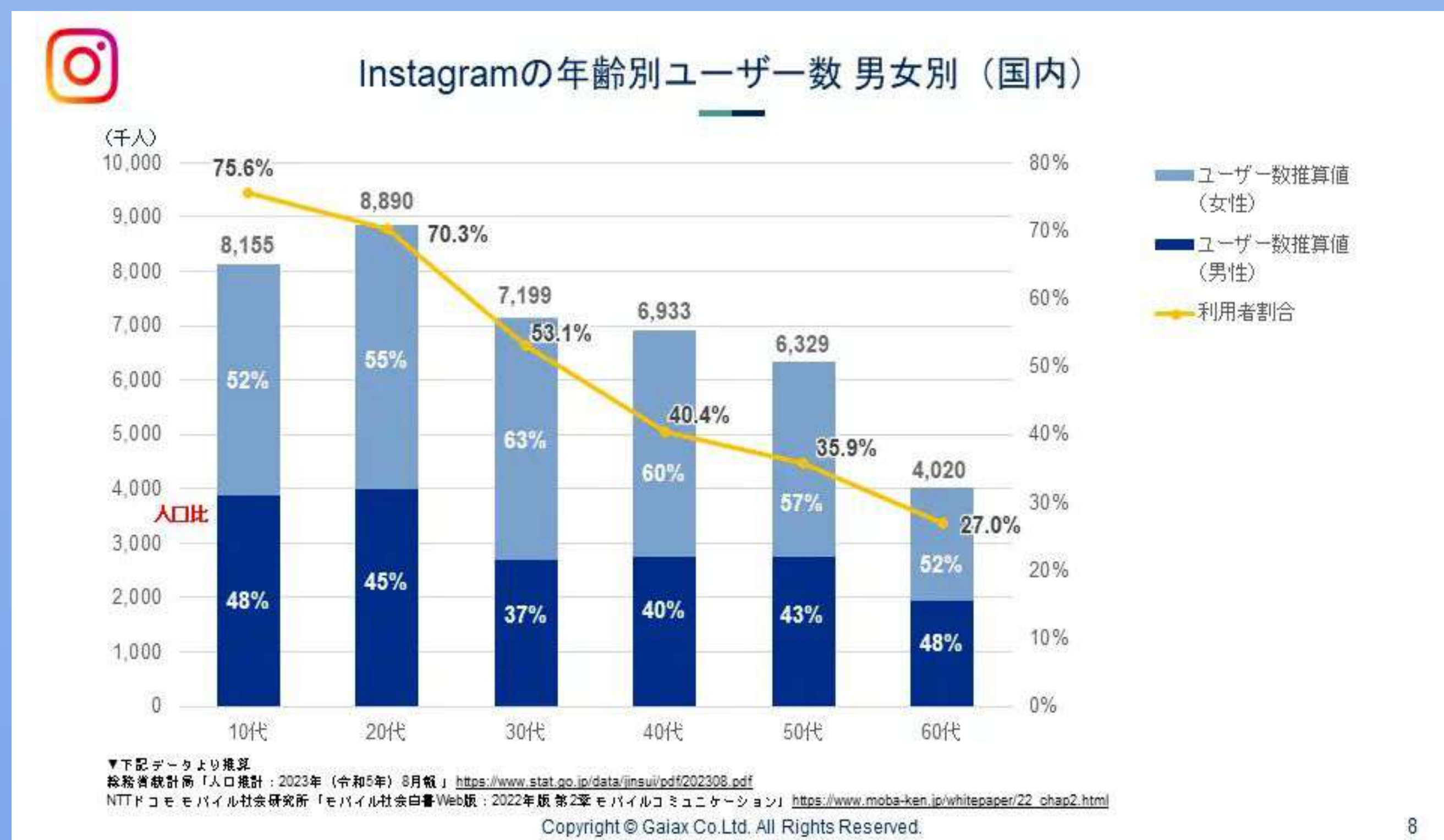
研究方法

- 1.延岡市の写真を撮る
- 2.魅力を伝える投稿を作成
- 3.1ヶ月間Instagramを使って宣伝
- 4.宣伝の効果を分析、考察
- 5.アンケートをとる

Instagramのストーリーでアンケートを
実施し投稿を見て訪れた人々の割合を
調べる

仮説

拡散力が高く一気に話題性を高めること
ができるSNSを使って店舗を宣伝すること
で延岡市に訪れる若い人が増え、延岡
市全体の活性化に繋がるのではない
か。特にInstagramは10代、20代と
いった若者の利用者は多い。



研究結果

15店舗の飲食店の画像をInstagram
に投稿し、4店舗を抽出してス
トーリーズで実際に訪れたかどうかア
ンケートをとった。その結果は以下の
表のようになった。

有名でない店(いいねが少ない投稿)
でも4.5割近くの高い割合の人が訪
れたとわかる。

各投稿のいいね数と訪れた割合			
店	いいね数 (件)	訪れた割合 (%)	
A	32	48	
B	19	41	
C	24	53	
D	18	39	

考察

Instagramへの投稿を増やすこと
で、店舗に訪れる若者の数も増える
ことがわかった。また、若者の多くは
Instagramを利用しており、説明
文やハッシュタグ、位置情報を追加
して、投稿を工夫することでいいね
が多くついた。特に近年はインス
タグラムが普及していて、投稿が若者
の目にとまりやすい。

参考文献

<https://gaiax-socialmedialab.jp/socialmedia/435>

2026年1月版！性別・年齢別 SNSユーザー数 2026/01/13